

芝浦工業大学 交換留学プログラム 参加後アンケート

海外派遣プログラムに参加したみなさまに、海外での経験を今後の学生に共有していただくため下記アンケートの記載をお願いしています。
記載いただいた内容は、芝浦工業大学のWebサイトやパンフレットに掲載いただくことがありますので、その前提でご記入をお願いします。
「留学するかどうか、もしくは留学先をどこにするか等、判断を迷っている後輩向け」という視点で記入をお願いいたします。

留学者情報	
・ 学部	工学部
・ 学科(コース等)	土木工学科
・ 学年(渡航開始時)	3年
・ ウェブ等への体験談掲載への同意	

留学先情報			
・ 渡航型/オンライン型			
・ プログラムタイプ			
・ 国・地域名	台湾		
・ 都市名	台北		
・ 留学先大学名	台北科技大学		
・ 留学期間			
・ プログラム期間	プログラム開始時期 (2021年9月上旬等)	2025年2月上旬	プログラム終了時期 (2021年9月上旬等)
・ 留学時期 (主に留学をしていた時期にチェックをお願いします)			
・ 上記協定校を志願した理由を教えてください。	私がこの協定校を志願したのは、いくつかの点で魅力を感じたからです。まず、治安が良く安心して生活できる環境であることに加え、限られた予算の中で留学を実現したいと考えていた私にとって、物価が比較的安く、さらに日本から近いため渡航費も抑えられる点は非常に魅力的でした。また、土木工学に関する授業が英語で開講されており、専門分野を英語で学ぶことができる環境にも強く惹かれました。さらに、現地の気候が日本と似ており、寒さが苦手な私にとっては、温暖な気候の中で快適に過ごせることも志望理由の一つです。		
・ (研究室配属型のみご回答ください) 受入大学の指導教員をどのように探したか教えてください。 (SIT指導教員の紹介等)			

留学中の学籍について	
・ 休学の有無	
・ 休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。 (留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に取得済み、かつ指導教員の許可も得られ、就活前に帰国することができたため、等)	科長の先生や担任の先生のご理解とご協力があったからです。三年次前期に履修する予定だった必修科目については、四年前期に履修することを特別に認めていただきました。また、卒業に必要な単位数を確保するために、多くの先生方が授業のオンライン対応や動画配信を行ってくださり、留学先にいながらも必要な科目を履修することができました。こうした先生方の温かいサポートがあったからこそ、休学せずに留学を実現することができました。

留学先での学習・研究状況

- 留学先での学習・研究状況につき、概要を記載してください。

現地大学の授業を2科目、芝浦工業大学の授業を8科目履修していました。現地では土木工学に関する授業が複数ありましたが、芝浦の時間割との調整が必要だったため、時間的に両立可能で、かつ自分の興味のある内容を扱っていた科目を選んで履修しました。履修登録の仕組みは芝浦とは異なり、登録日から授業が始まる形式であり、人気の授業は抽選ではなく先着順で受講が決まります。私が履修した授業も履修登録日に初回授業があったため、登録後すぐに大学へ向かいました。オンラインと対面を併用した忙しい学習環境でしたが取り組むことができました。

- 授業を履修した場合、具体的な科目の情報教えてください。
(たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。)

科目名①	introduction to environmental science	単位数 (現地単位数)	2
科目概要	環境科学の導入の授業です。環境科学について多角的な視点から学びました。授業では基礎的な知識に加えて、台湾・アメリカ・日本の環境問題を比較するなど、国際的な視点を交えた内容も扱われました。評価は中間試験と期末試験に加え、最終にはグループでプレゼンテーションを作成し、発表を行うという形式でした。グループワークでは、メンバーと協力して取り組む機会もあり、異なる背景を持つ学生同士で意見を交換しながら学ぶことができました。		
科目名②	physical education of table tennis	単位数 (現地単位数)	0
科目概要	履修した卓球の授業では、日本の大学と同様に、基本的なラリー練習や個人戦、グループでの試合などを通じて技術を身につける形式でした。この授業を通じて他の国からの留学生と交流する機会も多く、卓球をきっかけに交友関係を広げることができました。		
科目名③		単位数 (現地単位数)	
科目概要			
科目名④		単位数 (現地単位数)	
科目概要			
科目名⑤		単位数 (現地単位数)	
科目概要			
科目名⑥		単位数 (現地単位数)	
科目概要			

留学先での学習・研究以外の交流活動

- ・交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。

現地での交友関係については、学生が参加しているLINEグループでイベントの案内が頻繁に共有されていたため、積極的に参加するようにしていました。また、ルームメイトや友人たちと一緒に観光や食事に出かけることも多く、交流を深める良い機会となりました。私は部活やサークルには所属していませんでしたが、こうしたイベントや日常の中で十分に友人と関わることができ、充実した留学生活を送ることができました。

自由記述欄

- ・留学で感じたこと等、自由に記載してください。
(当初の留学計画を達成していたか、新たな発見があったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。)

英語力にまったく自信がありませんでしたが、今しかできないことをやってみよう、とりあえずチャレンジしてみようという思いで一歩を踏み出しました。結果的に、英語力の向上だけでなく、学生のうちにしかできない貴重な経験を得ることができました。三年次前期という時期を選んだのは、三年後期からは就職活動が本格化し、四年次は卒業研究で忙しくなると考えたためです。先生方のご理解とサポートもあり、このタイミングでの留学をすることができました。4か月以上にわたって他国で生活するという経験は、今後の人生でないと思います。その意味でも、この留学は非常に貴重で、かけがえのないものとなりました。異なる文化や環境の中で過ごす中で、日本以外にも思い入れのある場所ができました。日々の生活では、言語や習慣の違いに戸惑い、一日一日を乗り越えることに精一杯な時期もありましたが、そんな毎日も振り返ってみればあっという間で、本当に濃密な時間でした。この留学で得た経験と出会いは、今後の人生においても大切な糧になると感じています。

留学手続き時に苦労した点

- ・協定校への出願時に苦労した点や、特になし
後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)

- ・ビザ申請など、渡航準備時に苦労した点や後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)
(渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)

ビザ申請にあたっては、台湾大使館に直接足を運ぶ必要がありますが、平日の限られた時間しか開館しておらず、土日祝日は閉館しているため、スケジュールの調整が大変でした。そのため、ビザの申請や必要書類の準備は、時間に十分な余裕を持って、早めに進めることをおすすめします。

- ・その他、準備にあたり、後輩にアドバイスがあれば自由に記載してください。

留学準備は、基本的に全て自分で手続きを進める必要があるため、スケジュールに余裕を持って計画的に準備を進めることをおすすめします。また、渡航日がおおよそ決まった段階で、できるだけ早めに飛行機のチケットを購入しておくとう安心です。

滞在先の宿泊施設などの情報（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

・ 宿泊先のタイプを教えてください。（協定校の寮、一般のアパート、ホームステイ等）	協定校の寮
・ 上記宿泊先はどうやって手配しましたか？（出願時に協定校に依頼することができた、協定校から紹介してもらった、自分で探した、等）	出願時に入寮希望の有無を尋ねられたため、その時点で入寮を希望しました。出願後には、再度メールで希望の確認があり、指定されたフォームに回答しました。その後、渡航の約2か月前に寮の手配結果が通知され、正式に入寮が決まりました。
・ 現地空港到着後、どうやって上記宿泊先に向かいましたか？	電車と徒歩
・ 交通手段や所要時間を教えてください。	
・ 上記宿泊先から日々協定校へはどうやって通学していましたか？交通手段や所要時間を教えてください。	電車と徒歩で約40分ぐらい
・ 上記宿泊先の様子を教えてください。広さ、住み心地等。	私の宿泊先は4人部屋で、ルームメイト3人と共同生活をしていました。私の部屋と隣の部屋でトイレとシャワーを共有する形式で、それぞれ2つずつ設置されていました。ただし、共同のため隣の部屋の人が私たちの部屋側に入って来られる構造になっており、セキュリティ面ではやや不安を感じることもありました。設備自体は想像していたよりもきれいで、エアコンも完備されていました。水道水は飲みませんが、寮内には無料のウォーターサーバーが設置されており、不便を感じることはありませんでした。

留学中の費用や奨学金等（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

概算で結構ですので、参考までに記入してください。

初期費用

内訳	金額(円換算概算)	概要
協定校へ支払った費用 (授業料、初期登録費用等あれば)	¥0	
往復航空券代(往復)	¥105,000	
海外旅行保険・危機管理費用 (全期間分)	¥84,000	
その他費用(ビザ申請、パスポート取得費等、英語試験受験料等)	¥9,200	ビザの延長手続き約1500円(300NTD)
計	¥198,200	

1ヶ月あたり費用

内訳	月額金額	概要
宿泊費/月	¥2,000	一括払い(10000NTD)、そのうち約5000円(1000NTD)は保証金のため、退寮時に返済される
食費/月	¥52,000	キッチンがないため、毎日外食
その他/月	¥12,000	定期券(T-pass)6000円、電気代1000円、SIM4000円、交際費1000円
計	¥66,000	

奨学金情報

奨学金名	月額金額	概要
芝浦工業大学海外留学奨学金	¥60,000	
計	¥60,000	

写真共有のお願い（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

留学中の様子が分かる写真を4枚ほど共有ください。またそれぞれの写真に説明分を加えて下さい。
写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

大学のシンボルとなる建物の写真等をお願いします



説明文

台北科技大学の正門

宿泊先の様子が分かる写真等をお願いします



説明文

四人部屋の様子

その他、任意の写真



説明文

教室の様子

その他、任意の写真



説明文

台湾のランドマーク 台北101

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。